

令和4年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名
東京都（多摩市）

行事名称	多摩ふるさと資料館 自衛消防訓練・消防演習
実施期間・日時	令和5年1月20日（金）10:00～10:20
実施場所	多摩市立多摩ふるさと資料館、多摩市立市民活動・交流センター
主催者	多摩消防署、多摩市教育委員会、多摩市

■実施内容

訓練の想定

文化財資料を収蔵・展示している「多摩ふるさと資料館」の併設施設「市民活動・交流センター」喫茶スペースから出火炎上し、施設全体に延焼する恐れがあると想定し、文化財資料を搬出。

初期消火するも建物内部へ延焼拡大し、出動した消防署により逃げ遅れた来館者を救助、消防署のポンプ車からホースを延長し建物に向かって放水することを想定。

訓練の内容

来館者による火災発見、施設職員による通報・初期消火（消火器）、重要物品（模擬）の搬出。消防署により逃げ遅れた来館者の救助・放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

施設職員（8名）：119番通報、初期消火、重要物品の搬出

多摩消防署（約20名）：全体統括、来館者救助訓練、放水訓練、講評

多摩市教育委員会（2名）：現場立会い、講評

多摩市（3名）：現場立会い

特に工夫した点

令和4年4月開館の施設で初めて実施し、併設する施設職員も参加した。

問題点・課題

今後は施設来館者及び地元住民・地元消防団の参加が課題。

その他

毎年、文化財防火デーにあわせて訓練を行うことで防災の必要性を確認する機会を設けることが必要であり、今後も継続して実施することが重要。

訓練風景

